

PHILIPS

Over Ear

8000 シリーズ

TAPH805



取扱説明書

www.philips.com/support に製品を登録して
サポートを受けてください

目次

1	安全上のご注意	2	7	登録商標	11
2	Bluetooth オーバーイヤーヘッドホン	4		Bluetooth	11
	同梱品	4		Siri	11
	その他の機器	4		Google	11
	Bluetooth ワイヤレス・ヘッドホンの概要	5	8	よくある質問	12
3	始めましょう	5			
	バッテリーを充電	5			
	スマートフォンとヘッドホンペアリングします	6			
4	ヘッドホンの使用方法	6			
	Bluetooth 対応機器ヘッドホンを接続する	6			
	音楽・通話の操作方法	7			
5	仕様	8			
6	注意	9			
	法令順守宣言	9			
	古い製品およびバッテリーを廃棄する	9			
	EMF の順守	9			
	環境情報	9			
	法令順守の注意	9			

1 安全上のご注意

本製品をご使用頂く前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害や事故を未然に防止するためのものですので、下記内容を必ずお守り下さい。

お読みになったあとはいつでも見られるところに必ず保管してください。

⚡ 危険

- ・ この表示は、「取り扱いを誤った場合、死亡または重症を負う可能性が切迫して生じるおそれがあるもの」を示しています。

! 警告

- ・ この表示は、「取り扱いを誤った場合、死亡または重症を負う可能性があるもの」を示しています。

⚡ 危険

- ・ ヘッドセットを使用する場合は、必ず次のガイドラインに従ってください。
 - ・ 本機を使用するときは音量を上げすぎない。
耳を刺激するような大きな音量で長時間使用すると聴力に悪い影響を与えることがあります。
 - ・ はじめから音量を上げすぎない。
 - ・ 肌に異常やかゆみを感じた場合は使用しない。
 - ・ 使用中に気分が悪くなったら、使用を中止する。
本製品を耳から外してください。
 - ・ イヤキャップはしっかりと取り付ける
イヤキャップが外れて、耳の中に残るとけがや病気の原因となることがあります。
 - ・ 外部音が聞こえないことによって自分自身や他人に危険が生じる場合は、ノイズキャンセリング機能付きヘッドホンの使用をしないでください。
- ・ 道路交通法に従って安全に運転する。
自動車、バイク、自転車運転中に本機を使用しないでください。また、歩行中、交差点や踏切、駅のホーム、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。事故の原因になります。
- ・ 本製品を湿気、ほこり、油煙の多い場所、暖房器具の近く、直射日光の当たる場所や車内など高温の場所で使用、保管、放置しない。

! 警告

- ・ 分解や改造をしない。
火災、感電、けが、または故障の原因になります。
- ・ 本機を過度の熱に当てない。
- ・ 本機を落下させたり、強い衝撃を与えない。
- ・ 雨や雪、浴室や洗面所など湿気の多いところ、水滴や水しぶきがかかる場所で使用しない。
本製品は防水仕様ではありません。
- ・ 汗をかく状況で使用しない。
- ・ 本製品を水没させない。
- ・ ぬれた手で触れない。
感電やけがの原因になります。
- ・ 本機を布団や布などで覆わない。
発熱や発火の原因になります。
- ・ 本製品に水や異物を入れない。
水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
- ・ アルコール、アンモニア、ベンジン、または研磨剤を含むいかなる洗浄剤も使用しないでください。掃除が必要な場合は柔らかい布を使用し、必要な場合は最低限の量の水または薄めたマイルドな石けんで湿らせて本製品を掃除します。
- ・ 航空機内で使用する場合は、航空会社および客室乗務員の指示に従う。
電波が影響を及ぼし、誤作動による事故の原因となるおそれがあります。
- ・ 自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない。
電波が影響を及ぼし、誤作動による事故の原因となるおそれがあります。
- ・ 病院など使用を禁止された場所で使用しない。
医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。
- ・ 本機を医療機器の近くで使用しない。
機器が発する電波により心臓ペースメーカーや除細動器などの医療機器に影響を与えるおそれがあります。
- ・ 高精度な制御や微弱な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。
- ・ のどに詰まりやすい部品が含まれています誤って飲み込まないように、幼児やペットが触れる場所に置かない。
- ・ メーカー純正品または推奨品ではない電源アダプターや充電器を使用すると、火災や怪我などの原因となるおそれがあります。
使用する国の法令に準拠した電源アダプターのみをお使いください。
- ・ 破損した状態で使用したり、改造したりしない。
破損した状態のバッテリーや改造したバッテリーを使用すると、火災や破裂の原因となり、怪我をするおそれがあります。
修理が必要な際は、必ず当社カスタマーサービスにお問い合わせください。

- ・ 電池の液が漏れたり、異臭がする時には、直ちに火気より遠ざける。
- ・ 異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気づいたら使用しない。
異常に気づいたら、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店か当社サービスセンターに修理を依頼してください。
- ・ 一般ごみ（不燃ごみ）と一緒に廃棄しない。
- ・ 操作中および保管時の温度と湿度。
動作保証温度：0°C (32°F)～40°C (104°F)
保管温度：-10°C (14°F)～45°C (113°F)
動作保証湿度：8%～90%RH（結露がない場合）
保管湿度：5%～90%RH（結露がない場合）
最大動作保証高度：3000m
高温または低温状況ではバッテリー寿命が短くなることがあります。

充電池について

本製品はリチウムイオン電池を使用しています。

危険

- ・ 電池の液が目に入ったときは目をこすらない。
目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因となるので、すぐにきれいな水で十分に洗い流し、皮膚に違和感がある場合は、医師の診察を受けてください。
- ・ 電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。
- ・ 火気に近づけたり、火の中に入れない。
- ・ 以下の場所で使用、放置、保管しない。
 - ・ 直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、また、極端に温度が低いところ。
 - ・ ストープなどの熱源の近く。
 - ・ 炎天下の車内。
- ・ 本機を落下させたり、強い衝撃を与えない。
- ・ 水にぬらさない。

電波について

2.4 FH 1

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。

変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

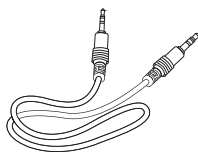
1. この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。
3. その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社カスタマーセンターまでお問い合わせください。

2 Bluetoothオーバーイヤーヘッドホン

Philipsが提供するサポートのメリットを最大限に受けるには、本製品を www.philips.com/welcom に登録してください。

このフィリップスのワイヤレス・オーバーイヤー・ヘッドホンでは、次のことができます。

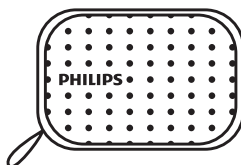
- 便利なワイヤレスのハンズフリー通話を楽しむ。
- ワイヤレスで音楽を楽しみ、コントロールする。
- 通話と音楽を切り替える。
- ノイズ・キャンセリングを体験する。



オーディオケーブル



クイック・スタート・ガイド

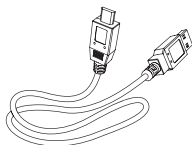


キャリングケース

同梱品



Philips Bluetoothオーバーイヤーヘッドホン
Philips TAPH805

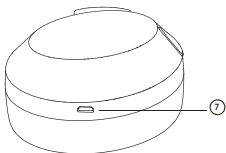
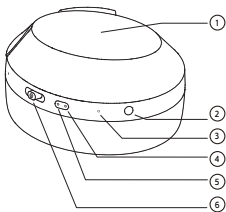


USB充電ケーブル(充電用のみ)

その他の機器

Bluetooth対応で、ヘッドホンと互換性がある(8ページの「仕様」をご覧ください)スマートフォンまたは機器(例 ノートパソコン、PAD、Bluetoothアダプター、MP3プレーヤーなど)。

Bluetoothワイヤレス・ヘッドホンの概要



- ① タッチ制御パネル
- ② オーディオジャック
- ③ マイク
- ④ LEDインジケーター
- ⑤ ANC/アンビエントサウンドLEDインジケーター
- ⑥ 〽 (電源スイッチ)
- ⑦ マイクロUSB充電スロット

3 始めましょう

バッテリーを充電

注

- ヘッドホンをご使用頂く前に、ヘッドホンのバッテリーを3時間充電します。
- 充電には付属の USB 充電ケーブルを使用してください。
- ヘッドホンの電源が切れるので、ヘッドホン进行充電する前に通話を終えてください。

充電ケース

次のスロットまたはポートに、付属のUSB充電ケーブルを接続してください。

- ヘッドホンのマイクロUSB充電スロット
 - コンピューターの充電/USBポート
- ➡ 充電中はLEDが赤色に変わり、ヘッドホンがフル充電されると電源が切れます。

※ ヒント

- 通常、フル充電には2時間かかります。

スマートフォンとヘッドホン をペアリングします

初めてスマートフォンでヘッドホン进行操作する前に、スマートフォンとペアリングしてください。ヘッドホンは直近の8つの機器をメモリーに保存します。8つ以上の機器をペアリングしようとする、1番最初にペアリングした機器が新しい機器に置き換えられます。

- 1 ヘッドホンがフル充電され、電源がオフになっていることをご確認ください。
- 2 青色と赤色のLEDが交互に点滅するまで電源ボタンを5秒間押し続けます。
↳ ヘッドホンは2分間ペアリングモードのままです。
- 3 スマートフォンの電源が入っており、Bluetooth機能が有効になっていることを確認します。
- 4 スマートフォンとヘッドホンをペアリングします。詳細情報については、スマートフォンの取扱説明書をご参照ください。

以下の例はスマートフォンと本ヘッドホンをペアリングする方法を示しています。

- ↳ スマートフォンのBluetooth機能をアクティブにして、Philips PH805を選択します



Philips PH805

4 ヘッドホンの 使用方法

Bluetooth対応機器ヘッド ホンを接続する

- 1 スマートフォン/Bluetooth対応機器の電源を入れます。
- 2 ヘッドホンの電源を入れるには、電源ボタンを押し続けてください。
↳ 青色のLEDが3秒間点灯します。
↳ ヘッドホンは最後に接続したスマートフォン/Bluetooth対応機器に自動的に再接続されます。

✱ ヒント

- ヘッドホンをオンにした後でスマートフォン/Bluetooth機器をオンにするかBluetooth機能の有効にした場合は、ヘッドホンとスマートフォン/Bluetooth機器を手動で再接続する必要があります。

≡ 注

- ヘッドホンが2分以内に最後に接続されたBluetooth機器に接続できなかった場合、ペアリングモードに変わります。ANCが8分間オフのままBluetooth機器に接続されていない場合は自動的に電源が切れます。
- ヘッドホンに接続履歴がなく、Bluetooth機器に2分間接続しない場合、ヘッドホンはペアリングを停止し、アイドルモードに入ります。

有線接続

付属のオーディオケーブルでヘッドホンを使用することもできます。付属のオーディオケーブルをヘッドホンと外部オーディオ機器に接続します。

✱ ヒント

- 有線接続モードを使用すると、ファンクションキーは無効になります。

音楽・通話の操作方法

オン/オフ

タスク	ボタン	操作
ヘッドホンをオン	電源スイッチ	3 秒間長押し
ヘッドホンをオフ	電源スイッチ	3 秒間長押し → 青色 LED がオンになり、電源が切れます。

ミュージック・コントロール

タスク	ボタン	操作
音楽の再生または一時停止	タッチ制御パネル	一度覆う
音量の調節	タッチ制御パネル	上 / 下にスワイプ
次のトラック	電源スイッチ	押し下げる
前のトラック	電源スイッチ	押し上げる

通話のコントロール

タスク	ボタン	操作
電話に出る / 切る	タッチ制御パネル	一度覆う
電話を拒否	タッチ制御パネル	2 秒間覆う
通話中に新しい電話に応答する	タッチ制御パネル	一度覆う
通話中に新しい電話を拒否する	タッチ制御パネル	2 秒間覆う
現在の電話を終了し、他の電話を有効にする	タッチ制御パネル	一度覆う

タスク	ボタン	操作
2 つの電話に応答した場合に、電話を切り替える	タッチ制御パネル	2 秒間覆う
通話中に電話とヘッドホンを切り替える	タッチ制御パネル	2 秒間覆う

ANCコントロール

タスク	ボタン	操作
ANC オン / オフ / アンビエントサウンド	電源スイッチ	1 回押す

Googleアシスタント

タスク	ボタン	操作
Google アシスタントを起動	タッチ制御パネル	長押し

他のヘッドホンのインジケーター状態

ヘッドホンの状態	インジケーター
本ヘッドホンがスタンバイモードの間、または音楽を聴いている間でも、ヘッドホンは Bluetooth 対応機器に接続できません。	青色 LED 点灯します。
ペアリングの準備ができています。	LED が青色と赤色で交互に点滅します。
ヘッドホンはオンですが、Bluetooth 対応機器に接続されていません。	赤色 LED がゆっくり点滅します。接続できない場合は、ANC をオフにすると、ヘッドホンは 8 分以内に電源が切れます。
バッテリー残量が少ない。	電源が切れるまで、2 秒おきに 1 回赤色 LED が点滅します。
バッテリーはフル充電されています。	赤色 LED が消灯します。

5 仕様

ヘッドセット

- 音楽時間:30時間
会話時間:30時間
- スタンバイ時間:160時間
充電時間:2時間
- 再充電可能リチウムポリマー・バッテリー (680mAh)
- Bluetoothバージョン:5.0
互換性のあるBluetoothプロファイル:
 - HFP
 - A2DP
 - AVRCP
- オーディオコーデック:SBC
- 周波数帯域:2.402~2.480GHz
- トランスミッター出力:10 dBm未満
- 操作可能範囲:最大10m (33フィート)
- デジタルエコー&ノイズリダクション
- 自動電源オフ
- 充電用マイクロUSBポート
- バッテリー残量少の警告

注

- 仕様は予告なしに変更されることがあります。

6 注意

法令順守宣言

これにより、飛生(香港)控股有限公司(MMD Hong Kong Holding Limited)はこの製品が指令2014/53/EUの必須条件および他の関連条項を順守していることを宣言します。
www.p4c.philips.comで法令順守宣言を確認することができます。

古い製品およびバッテリーを廃棄する



お持ちの製品は高品質材料と部品で設計・製造されており、リサイクルや再利用が可能です。



製品のこの記号は、本製品が欧州指令2012/19/EUの対象として含まれることを意味しています。



この記号は、本製品が通常の家計ゴミに廃棄できない、欧州指令2013/56/EUの対象として含まれる内蔵再充電可能バッテリーを含んでいることを意味しています。正式な回収場所、または専門家が再充電可能バッテリーを取り外してくれる、Philipsサービスセンターに製品を持って行くことを強くお勧めします。

本製品と再充電可能バッテリーは、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。絶対に通常の家計ゴミに廃棄しないでください。古い製品と再充電可能バッテリーの正しい廃棄は環境と人体の健康への悪い結果を防ぐことに役立ちます。

EMFの順守

本製品は、電磁場への曝露に関して適用されるすべての規格および規制に準拠しています。

環境情報

不要なパッケージはすべて省略されています。段ボール(箱)、発泡スチロール(緩衝材)、ポリエチレン(袋、保護用発泡シート)の3つの素材にパッケージを簡単に分離できるようにしています。

本製品は、専門の企業によって分解された場合にリサイクルおよび再利用できる材料で構成されています。梱包材、使用済みバッテリー、古い機器の廃棄に関する地域の規制を順守してください。

法令順守の注意

機器はFCCルール、パート15に準拠しています。操作は以下の2つの条件に従うものとします：

1. この機器は有害な干渉の原因とはならず、
2. この機器は、望まない操作の原因となる可能性がある干渉を含む、受信されたいかなる干渉も受け入れる必要があります。

FCCルール

この装置はFCCルールのパート15に基づいて、クラスBデジタル機器のリミットに適合するように試験され、確認されています。このリミットは、住宅での設置において有害な干渉から適切に保護するために設定されています。この装置を製造し、使用すると無線周波数エネルギーを放出する可能性があり、説明書に従って設置、使用しない場合は無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。しかし、特殊な設置状況においては、干渉が生じないという保証はありません。この機器がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす（機器の電源をつけたり消したりすれば確認できます）場合、ユーザーは以下の1つまたは2つ以上の方法により、干渉の排除を試行することが推奨されます。

- 受信アンテナの位置または方向を変える。
- 装置とレシーバー間の距離を空ける
- レシーバーが接続されている回路とは異なる回路上のコンセントに装置を接続する。
- 販売店または熟練したラジオ/TV技術者に相談する。

FCCの放射線被曝についての表明：

この装置は、制御されていない環境において規定されたFCCの被ばく限度に準拠しています。

このトランスミッターは、いかなる他のアンテナまたはトランスミッターとも一緒に設置または操作してはいけません。

警告：決まりを順守させる責任のある当事者に明確に認められていない改変や改造を行うと、ユーザーのこの装置の操作権限が無効になることに、ユーザーは注意してください。

カナダ：

この機器には、カナダのイノベーション、科学、経済開発のライセンス免除RSSIに準拠するライセンス免除送信機/受信機が含まれています。操作は以下の2つの条件に従うものとし、(1) この機器は有害な干渉を生じてはならない、および(2) この機器は好ましくない操作を引き起こす可能性がある干渉を含めて、必ず受信した干渉を全て受け入れなければならない。

CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

ICの放射線被曝についての表明：

この装置は、制御されていない環境において規定されたカナダの被曝限度に準拠しています。

このトランスミッターは、いかなる他のアンテナまたはトランスミッターとも一緒に設置または操作してはいけません。

7 登録商標

Bluetooth

Bluetooth[®]のワードマークとロゴはBluetooth SIG, Inc.の所有する登録商標であり、冠捷投資有限公司 (Top Victory Investment Limited) によるこの商標のいかなる使用もその許可を得ています。他の商標および商標名は各所有者に属します。

Siri

Siriは、米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。

Google

GoogleはGoogle LLCの商標です。Google アシスタントは、特定の言語や国ではご利用いただけません。

8 よくある質問

Bluetoothヘッドホンの電源が入りません。
バッテリー残量が少なくなっています。ヘッドホンを充電してください。

Bluetooth対応機器とヘッドホンをペアリングできません。

Bluetoothが無効になっています。Bluetooth対応機器のBluetooth機能を有効にして、ヘッドホンの電源を入れる前にBluetooth対応機器の電源を入れてください。

ペアリングをリセットする方法。

ヘッドホンをペアリングモードのままにし(赤と青のライトが交互に点滅)、電源ボタンを押したまま、タッチ制御パネルをダブルタップすると、紫色のLEDライトが3回点滅します。

Bluetooth対応機器で音楽を聴くことはできませんが、音楽のコントロールができません(例再生/一時停止/曲送り/曲戻し)。

BluetoothオーディオソースがAVRCP(8ページの「仕様」をご覧ください)に対応していることを確認してください。

ヘッドホンの音量レベルが低すぎます。

一部のBluetooth対応機器は、ボリューム同期を介して音量レベルをヘッドホンにリンクできません。この場合、適切な音量レベルにするには、Bluetooth対応機器の音量を個別に調整する必要があります。

Bluetooth対応機器上でヘッドホンを見つけることができません。

- ヘッドホンが以前ペアリングした機器と接続されている可能性があります。接続されている機器の電源を切り、電波の届かない場所に移動させてください。

- ペアリングがリセットされていた、またはヘッドホンが以前の機器とペアリングされたままになっている可能性があります。取扱説明書に記載されている通りにヘッドホンとBluetooth対応機器を再度ペアリングにしてください。(6ページの「スマートフォンとヘッドホンをペアリングします」を参照してください)。

BluetoothヘッドホンがBluetoothステレオ対応スマートフォンに接続されていますが、スマートフォンのスピーカーからしか音楽が再生されません。

お持ちのスマートフォンの取扱説明書をご参照ください。ヘッドホンを通じて音楽を聴く設定をご確認ください。

音質が悪く、バリバリというノイズが聞こえます。

- Bluetooth機器が、電波の届かない場所にあります。ヘッドホンとBluetooth対応機器の距離を縮めるか、間にある障害物をどけてください。
- ヘッドホンを充電してください。

スマートフォンからのストリーミングが非常に遅い時に、オーディオ品質が貧弱になります。または、オーディオ・ストリーミングが全く機能しません。

お持ちのスマートフォンが(モノ)HFPだけでなく、A2DPもサポートされており、BT4.0x(またはそれ以上)互換であることをご確認ください(8ページの「仕様」を参照)。

これ以上のサポートについては、
www.philips.com/support にアクセスしてください。



Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados. Este produto está homologado pela ANATEL, de acordo com os procedimentos regulamentados pela Resolução 242/2000, e atende aos requisitos técnicos aplicados. Para maiores informações, consulte o site da ANATEL: www.anatel.gov.br

Philips および Philips Shield Emblem は Koninklijke Philips N.V. の登録商標であり、許可を得て使用しています。この製品は飛生（香港）控股有限公司（MMD Hong Kong Holding Limited）またはその系列会社の一つによって製造・販売されており、飛生（香港）控股有限公司（MMD Hong Kong Holding Limited）はこの製品に関する保証人です。

UM_TAPH805_10_EN_V2.0

